

2 小学4年生を対象とした体験学習を行っています

各環境事業センターでは、小学校4年生が社会科で学習する「ごみと社会」の授業に関連して、小学校へごみ収集車両を持ち込んで、ごみ収集車両(天然ガス仕様のパッカー車など)の構造説明・積み込み作業を実演し、小学生の皆さんにも実際に積み込み体験をしてもらっています。

ごみ収集車両を間近に見てもらうことにより、ごみ処理についての関心を持ってもらい、ごみの減量やリサイクルの推進、ごみの出し方などについてのマナーの向上を働きかける活動を実施しています。



教室では、ごみの減量やリサイクル、分別について説明し、ごみのサンプルを使用しクイズ形式で参加してもらい理解を深めてもらっています。

「ごみ」について学習することにより、ごみの減量・地球環境に関心を持ってもらえたらと思います。



生徒からの手紙

先日は、かんきょう局の出前授業に来ていただいてありがとうございました。

●パッカー車にごみを入れたり、運転席にすわらせてもらったりしてとても楽しかったです。また、1日にたくさんのごみが出されていることを、初めて知りました。



●ほくは、スプレーカンのガスをぬきわすれると、パッカー車が燃えることがあることを、知りませんでした。ほくはいままで(分別しなくてもまだいじょうぶ)と思っていました。ほくは「ガスボンベがパッカー車の中でばくはつする」と聞いて、分別しようと思いました。

●ごみの分別について教えてもらったとき、初めはどのごみの種類かわからなかったけど、ごみの分別ゲームなどをして、わかりました。家でわからなかったときは、体験学習で教えてもらったことを、思い出して分別してごみを出しています。

